

特定非営利活動法人 命のバトン ～命をつなく心を育てる会～

# はあたらいふ

Heart Life



会報

7号

vol.7

2017年6月



## 命をつなく“あなたの手”

### 巻頭言

皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、NPO 法人命のバトンの活動に対し、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年10月1日、大阪市の桃山学院中学校・高等学校で開催された「いのちの大切さ」を伝えるための講演会に出掛けて参りました。講演では、平成23年9月29日に、駅伝の課外練習中に倒れ、救急搬送された後に死亡した、さいたま市立小学校6年生の桐田明日香さんのお母様である桐田寿子様のお話を拝聴させていただきました。

「明日香さんの事故から学ばせていただく。」「二度とこのような事故を繰り返さない。」という私たちと同じ想いを、多くの皆様の心に刻んでいただきたく、今回、当時のさいたま市教育長の桐淵博様から『ASUKA モデル』の想いを紹介していただくことができました。

『ASUKA モデル』の想いが、そして命のバトンが、多くの皆様方の心に繋がっていくことを切に祈っております。

理事長 川崎 眞弓

# BLS授業をおこないました！

## 中藤小学校

実施日	学校名	受講者数
6月14日	棗小学校	30名
6月14日	長橋小学校	6名
6月16日	鶉小学校	46名
6月17日	東藤島小学校	32名
6月21日	明新小学校	169名
6月23日	みそみ小学校	28名
6月24日	武生第一中学校	240名
7月 2日	酒生小学校	44名
7月 5日	清水南小学校	27名
7月13日	社南小学校	138名
7月14日	文殊小学校	34名
7月28日	円山なごみ児童館	20名
9月 2日	岡保小学校	41名
9月 8日	社西小学校	62名
10月13日	服間小学校	86名
10月25日	中藤小学校	136名
10月31日	宝永小学校	34名
11月 1日	日之出小学校	56名
11月 2日	和田小学校	99名
11月10日	清水東小学校	31名
11月10日	円山小学校	87名
11月11日	春山小学校	93名
11月15日	木田小学校	146名
11月15日	豊小学校	83名
11月25日	旭小学校	45名
1月21日	明倫中学校(男子バド)	20名
1月27日	清明小学校	80名

平成28年度の  
児童・生徒の受講者数 **計 1,913 人**

私はベーシックライフサポート（BLS）教室をして、人の命の守り方を改めて知りました。AEDの使い方や、胸骨圧迫の仕方など、初めて知ることができました。学校で人が倒れた場合、AEDのある場所を知らなかったら、胸骨圧迫の仕方を知らなかったらという心配が大きくなりました。胸骨圧迫を実際にした時、初めはバウンドをしてしまい、うまくできませんでした。でも、NPO法人の人が教えてくださって、うまくできるようになりました。AEDの使い方は、1つも知らなかったけど、人が倒れたら助けられるように、一生懸命聞くことができました。最後にやった5分間の交代でやる胸骨圧迫はキツかったけれど、自分が1人でも人を助けられるように、同じグループの人と協力してできました。私のおじいちゃんは、癌の病気を2個持っています。おじいちゃんが倒れた時、自分が誰よりも早く行動を起こしておじいちゃんを助けてあげたいです。

今日やったBLS教室はこれから後の自分に役立つと思います。 **6年児童**



## 酒生小学校

私は、AEDとは何か知らなかったけど今回勉強して、初めて知りました。それは倒れた時に、命を助けられるものだ分かりました。AEDの使い方も覚えめました。AEDはスイッチやパッドを貼るだけだけど、胸骨圧迫は力もいるし、休まずに速さを考えてやらなきゃいけないので、とても疲れしました。もしも、目の前で友達や家族が倒れたら、助けを呼んでからAEDを持ってきてもらう間に、呼吸の確認をして胸骨圧迫をします。それから、AEDが来たら、音声に従ってやります。胸骨圧迫は乳首と乳首の間と、鼻の真下ですることも分かりました。最後の動画を見て、うるさくしたら音声聞こえなくなることが分かったので、静かにしたいと思いました。人はいつ倒れるか分からないので、今回の学年活動の「BLS授業」で勉強しておいて良かったと思いました。命はとても大事だということが、とても分かりました。命は一度失うと二度とかえってこないの、とても大変だということを改めて思いました。

AEDを使っても助からない命もあるかもしれないけど、何もせずに見ているだけより、何かした方がいいんだと思いました。

**5年児童**





## 旭小学校

AEDの使用方法、胸骨圧迫の仕方を学習して、命についてよく考えるようになった。突然、側にいる人が倒れても冷静に対応し、AEDと119番、胸骨圧迫ができるように頑張りたい。そんな事いつ起こるか分からないし、誰が何処でなるか想像もできないけど、命を救えるようにしたいと思った。

心臓突然死で毎年6万人の人が亡くなっていると聞いて驚いたが、これからはそうならないよう命を大切にしたい。AEDがあると、一命を取り留めることができることもある。AEDの使い方を忘れないようにしたい。 **6年児童**



## 旭小学校

AEDが無く、亡くなった方や、AEDがあり助かった方などがいて、AEDはとても大切なんだと思いました。体験したときは1人でやると、とても辛かったけど、皆で協力してすると楽だったので、皆で協力すれば命を助けられるんだと思いました。

これからは側にいる人が倒れた時は習ったことを使い、助けたいです。 **6年児童**



## 児童らの感想!!

NPO法人命のバトンでは、小学生へのBLS(一次救命法)授業を実施しています。授業時間は各校のニーズに柔軟に対応できる様、45分授業(1時限)、90分授業(2時限)のプログラムを準備しております。



### 「尊い命をつなぐBLS授業」

第42代福井市PTA連合会 会長 佐々木 敦子

川崎様のご講演でお嬢様の悲劇をお聞きし、計り知れない辛く悲しい思いをされながら、そこからAED、BLSの普及活動をされておられることに心から敬服いたしました。

私自身、事故の現場に遭遇したことがあります。十数年前、信号待ちをしていた目の前で自転車に乗った女の子が車にはねられました。女の子は出血し意識がありませんでした。何としてもこの子を助けたい一心で救急車が到着するまで無我夢中で必死に心臓マッサージを続けました。本当にあの子を助けることが出来たのか自問自答の中、いつ起こりうるか知れないもしもの時に、しっかりと対応出来るようにそれから数回BLS講義を受けさせていただきました。

川崎様はじめ、皆様のご活躍のお陰で今は至る所にAEDが設置され、普及しています。しかし、まだまだAEDの使い方を知らない方や、BLSの仕方を知らない方が多いのではないかと思います。

今後も命のバトンの素晴らしい活動を継続していただき、子どもたちが命の尊さを学び、もしもの時に自信をもって行動出来るようになってほしいと切に願います。



## 子どもたちの命を守るために～『ASUKAモデル』への想い～

『ASUKAモデル』とは、平成23年9月、駅伝の練習中に倒れ亡くなった桐田明日香さんのお名前を借りた教職員用テキストです。現場にいた先生たちは「呼吸がある」「脈がある」ととらえ、心肺蘇生やAEDの装着を行いませんでした。事故後の検証委員会等を通じて、死戦期呼吸や痙攣が心停止のサインであること、AEDには診断機能があり、ためらわずに装着すべきであること、心停止が疑われるケースでは寸秒を争う処置が必要であることなどの理解が不十分だったのではないかと指摘されました。



残念なことですが、学校事故が起こった場合、保護者と学校・教育委員会が深刻な対立に至るケースが少なくありません。明日香さんの事故も、当初そうした方向に進んでいました。保護者からすれば、朝元気な姿で送り出したのですから、よほどしっかりした説明がない限り、「態度に誠意が感じられない」「責任逃れのために隠蔽しているのではないか」等々の疑念や不満が生じやすいのです。学校は学校で、「一生懸命やったことを分かってほしい」「無理難題を言われても困る」といった気持ちが先行します。世間には、「過失を認めたとと思われるよう謝罪の言葉は使わない」などといった「ノウハウ」さえあり、言葉を選び慎重に対応しようとする。そうした中で裁判に至るケースもあります。もちろん裁判の意義は否定しませんが、争って法的な責任の所在は明らかにされても、有効な再発防止策ができるかどうかは別問題です。明日香さんのケースでも、争いになっていたら『ASUKAモデル』はできなかったと思います。

協力関係への転換点は、当時教育長であった私のご自宅を訪問し、ご両親と直接話し合ったことにありました。私は最初に、「『いってきます!』と元気に家を出たお子さんを『ただいま!』とお返しできなかった」ことを、学校を管理する行政の責任者としてお詫びしました。その瞬間、お母様が、「初めて謝ってもらいました」と大泣きされたことを鮮明に覚えています。それ以来私たちは、明日香さんに何が起こりどうしたら命を守れたのか、再発防止のためにどうすべきかを話し合いながら『ASUKAモデル』を作り、小学校からの救命教育をカリキュラム化してきました。

消防白書によれば、我が国の心臓突然死は年間約7万人に上っています。交通事故で亡くなる方は平成28年に4千人以下になっていますから、この数はとても大きなものです。そしてそれは若年者にも多いのです。日本スポーツ振興センターの統計では、学校管理下の死亡事故（死亡見舞金の件数）のうち、突然死は転落・転倒や溺水等に比べ圧倒的に多く、半数前後を占めています。小学校高学年から中・高生になると増加し、運動部活動、体育の授業、学校行事などで多く発生しています。

一方、突然の心停止に対しては、居合わせた人による

一次救命処置に大きな効果があることが分かり、平成16年にはAEDの市民使用が解禁になりました。その後、消防や日本赤十字社、また、皆様の「命のバトン」のようにNPO法人の方々などが熱心にその普及に努め、救命講習の参加者も増えてきました。実際に、その成果も見られます。消防白書では、救急隊到着前に市民が救命処置を行った例が増えており、平成27年には目撃例の55.8%に上っています。その場合の救命率は、何もしなかった場合の9.2%に対して16.1%、さらにAEDの電気ショックを行った場合は54.0%にもはね上がっています。学校における突然死も、平成10年度以後は100人を切り、さらに減って平成17年度以後50人以下に抑えられてきました。

しかし、明日香さんの事故は平成23年に起こりました。減ったとはいえ、現在でもかなりの数の子どもたちの命が失われています。先にあげた消防白書においても、AEDによる電気ショックを実施した件数は、目撃例のうちの4.5%に過ぎません。AEDには劇的な効果がある、しかし十分には使えていない。これが現状なのだと思います。そして、これらの数値は、たくさんの子どもたちの命を預かる学校の先生たちにリアリティを持った危機意識の醸成が必要であることを示しています。

こうしたこと踏まえ、文部科学省が昨年3月に公表した「学校事故対応に関する指針」では、万一の際に救命を第一として迅速に行動すべきことが強く、また具体的に示されました。また、教員養成課程において、これまで養護教諭と保健体育科の教員にしか課せられていなかった救急処置や学校安全に関する学習が、すべての教員に広げられる方向が打ち出されています。

教職員にとって「預かったお子さんを元気な姿のまま家庭にお返しすること」が最低限かつ最大の責務です。先生たちは、その上に、たとえ微かなものであっても「成長」というお土産を持たせたいと願って必死に仕事をしているのだと思います。

倒れている人を見たら、誰もが駆け寄り救急隊を呼び、協力して救命処置を行う、それが当たり前となる社会を創っていきたいものです。そのためにも、小学校からの体系的な救命教育が大切だと考えています。それは、助け合いや協働の精神を育てる生命尊重教育に他なりません。



きりふち ひろし  
桐淵 博

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター研究員  
(前教育学部教授)

さいたま市政策アドバイザー(前さいたま市教育長)

日本AED財団理事

日本臨床救急医学会

学校へのBLS教育導入に関する検討委員会委員

# BLS授業の実施履歴をまとめてみました(H22~)

	市町	学校名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (予定)
1	福井市	木田小学校			○	○	○	○	○	○
2		豊小学校	○	○	○	○	○	○	○	○
3		足羽小学校				○				
4		春山小学校		○					○	
5		順化小学校	○	○	○	○				
6		宝永小学校		○				○	○	○
7		松本小学校				○				○
8		日之出小学校						○	○	
9		旭小学校		○				○	○	○
10		和田小学校			○	○	○	○	○	○
11		円山小学校			○	○	○	○	○	○
12		啓蒙小学校			○			○		
13		西藤島小学校			○					
14		社北小学校			○	○		○		
15		社南小学校		○	○	○	○	○	○	○
16		安居小学校		○		○				
17		中藤小学校				○	○	○	○	○
18		大安寺小学校			○			○		
19		河合小学校					○	○		○
20		麻生津小学校		○						
21		国見小学校			○	○		○		○
22		岡保小学校	○	○		○	○	○	○	○
23		東藤島小学校			○		○	○	○	○
24		殿下小学校					○	○		
25		鶉小学校							○	○
26		本郷小学校	○							
27		栗小学校					○		○	
28		鷹巣小学校			○			○		
29		長橋小学校			○		○		○	
30		森田小学校								○
31		明新小学校		○	○	○	○	○	○	○
32		酒生小学校		○	○	○	○	○	○	○
33		一乗小学校		○		○		○		○
34		上文殊小学校			○	○	○	○		
35		六条小学校		○			○			○
36		文殊小学校		○			○		○	
37		東郷小学校			○			○		
38		日新小学校					○			○
39		清明小学校		○	○	○	○	○	○	
40		社西小学校				○		○	○	○
41		羽生小学校		○						
42		越廼小学校		○						
43		清水西小学校		○						○
44		清水東小学校		○	○		○		○	
45		清水南小学校			○		○		○	
46		清水北小学校		○				○		
47		明倫中学校					○	○	○	○
48	鯖江市	鯖江東小学校					○			
49		北中山小学校					○			
50	越前市	坂口小学校						○		
51		神山小学校			○					
52		服間小学校					○	○	○	
53		武生第一中学校					○	○	○	
54		武生第六中学校			○	○				
55	南越前町	今庄小学校							○	
56	若狭町	みそみ小学校						○		
実施校数計			4校	20校	23校	21校	25校	30校	26校	24校

※BLS授業の実施を希望される方は、命のバトンのホームページをご覧ください。



# トピックス

赤い羽根共同募金の「災害等準備金の取崩助成」を受け、BLS 授業を普及拡大するための講習用マネキン24体を購入させていただきました。



東村福井市長と語る「あじさいトーク」に参加しました。

期 日：2017年2月12日（日）  
場 所：アオッサ研修室  
テーマ：小学校におけるBLS授業の実施について  
～思いやりのある社会の実現に向けて～



全国的にも先進的な当法人の取り組みであるBLS授業について理解を深めていただきました。福井市では今年度からコンビニにAEDが設置されます。全ての市民がAEDを用いた心肺蘇生法ができる社会となるよう微力ながら尽力させていただきます。

## 嶺南でも

28年度からBLS 授業や講習会実施の依頼をいただき、活動の範囲が広がりました。

H28年  
5月26日

小浜商工会議所  
青年部



H28年  
6月23日

若狭町  
みそみ小学校  
5・6年生



H28年  
8月31日

(株)きんでん  
小浜営業所



「CPR フェイスシールドキーホルダー」が出来上がりました！



※ケースの色は  
オレンジのみ  
(600円/個)

“いざ”という時に人工呼吸が躊躇なく実施できるグッズとして、キーリングケース入りフェイスシールドを作製しました。

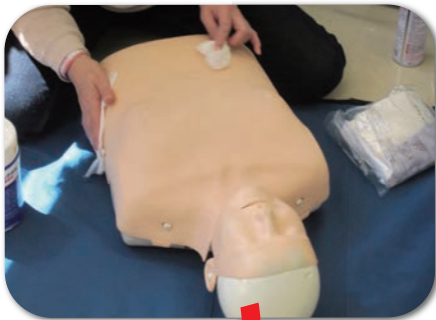
※命のバトンの講習会の際にお求めいただくか、メールでお問い合わせください。

講習用マネキンのメンテナンス作業の様子をご紹介します。(実施日: H29.4.23)



公民館の一室をお借りして作業開始!!

胸の汚れをアルコールで拭き取る。



胸を開いて肺の交換。

マスク(顔)を交換して、



胸を戻して出来上がり!!

H29年2月9日に越前市万葉中学校で開催された「越前市学校保健会会員研修会」でお話をさせていただき、後日、三田村雅人校長先生から大変ありがたい礼状をいただいたので、その一部を紹介합니다。

さて、このたびは越前市学校保健会会員研修会におきまして、「救える命 つながる命～娘からのメッセージ」というテーマで、お話をさせていただきました。ありがとうございます。

AEDの啓発、普及にかける熱い思いにふれ、もっといろいろな話をお聞きしたいと思うほど、時間が短く感じられました。また、AEDが普及するだけではだめであり、AEDを使えなければならぬこと、AEDを使える技術を知ることが大事なことだが、その前提として命の教育が必要であることなど、これから学校においてAEDの啓発、命の教育を進める上で、参考になる話をたくさん伺うことができました。

参加者が皆、満足そうな表情で帰られました。

(※)一部割愛しています。

## CHECK!

「やろっさFUKUI」に出演しました!

URL <https://youtu.be/NEeyQYvJxY4>



「防災一人語り」の推奨団体第一号となりました!

URL <http://www.bousaihitorikatari.jp/>



(一財)日本AED財団(2016.7月設立)

URL <http://www.aed-zaidan.jp/>



さいたま市『ASUKA モデル』

URL <http://www.city.saitama.jp/003/002/>





## facebookページ開設いたしました。

命のバトンの facebook ページを開きました。ホームページに記載の投稿がタイムラインとして閲覧できる他、スタッフの気になる話題も順次投稿していきます。ぜひ“いいね！”をお願いいたします。

URL : <http://www.facebook.com/inochinobaton>

## 会員募集のお知らせ

一緒に活動して下さる方、この活動を応援して下さる方を募集いたします。

私達の仲間に入りませんか。また、小学校などでのBLS授業のお手伝いをしてくださるスタッフを募集しております。

会員募集に関するお問い合わせは、下記へメール又はホームページをご覧ください。

E-mail : [info@heartlife-fukui.com](mailto:info@heartlife-fukui.com)

会員になると、講習会無料・AED貸出優遇などの特典があります。

## 最新情報のお知らせ

命のバトンメルマガのご案内やBLSに関するニュース等をメルマガにて月に1度配信しております。メルマガ登録希望の方は下記 URL より登録してください。

URL : <http://www.heartlife-fukui.com/mm/>

## 定期講習会

「心肺蘇生法とAEDの操作方法を覚えたいんだけど、どこで教えてもらえるの？」

そんなあなたの為に毎月1回定期講習会を行います。ご家族・お友達お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

(受講料1,000円/名)

場所：福井駅東 AOSSA 7階

(福井県福井市手寄1丁目4)

※定期講習会、出張講習会の詳細は命のバトンのホームページをご覧ください。

## AED無料貸し出し

講習を受けた方を対象に、イベント時のAEDの無料貸し出しを始めました。貸し出し資格の有効期間は1年間です。

ビーチバレー、アクアスロン、自転車レース、お祭り、少年野球の遠征時等にご利用いただけます。貸し出し出来る台数は2台のみですので、先着順とさせていただきます。ご連絡お待ちいたしております。

## 出張講習会

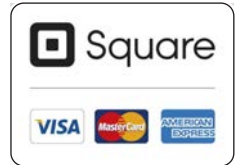
スポーツ少年団やスポーツクラブ等、スポーツを行っている方々、お子さんの居るご家族や育児サークルの方々、保育園～高校の父兄(PTA)の方々、会社での社員研修等さまざまなグループの「命をつなぐ」お手伝いとして出張講習会を提案させていただきます。仲のいいお母さん達の集まりやお友達同士等、少人数での出張講習も承ります。お気軽にご連絡ください。

## 年会費・寄付のお支払いに、クレジットカードがご利用いただけます！

今まで年会費のお支払いは、郵便局によりお振り込みいただく必要がありましたが、この度クレジットカード決済をご利用いただけるようになりました。

『命のバトン』([heartlife-fukui.com](http://heartlife-fukui.com))web サイトより、『年会費・寄付金のお支払い』をクリックし必要事項をご入力ください。入力内容を命のバトンで確認後、インボイス(請求)メールをお送りいたします。

パソコン、スマートフォンのメールアドレスがご利用いただけます。



## 命のバトンスタッフのひとこと

今回の桐淵先生の特別寄稿には、悲しい体験から得た大切なことが綴られています。多くの教育関係者の方々に、是非とも御一読いただきたいと切望しております。(N)

「救命は迅速に、チームワークで!」、新米の私はベテランスタッフの後姿を見て背筋が伸びます。一次救命処置で助かる命を救ったのは、AEDと云う器械だけではなく、勇気ある人々がいたからこそ。AED講習会の時間は、毎回私にとって「真空パックの中のような密度の濃い時間」です。真摯に命に向き合う時間、大切に想っています。(K)

私がAEDと出会って10年以上が経ちました。この小さい器械で、命を救うきっかけを作ることが出来ます。突然亡くすことになるかもしれない大切な命を、人の命を守るために、知って・学んで・伝えていきます。(T)

## 命のバトンの活動に賛同いただいている企業様

(株)池田大正堂  
石山総合解体(株)  
M|クリエイト  
キャノンシステムアンドサポート(株)  
(株)きんでん  
(有)坂井清掃  
(有)TK保険

(株)長野ポンプ  
(株)ヒロセ・プランニング  
(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン  
福井フェニックスライオンズクラブ  
(株)ホーコース  
(株)宮永不動産

(五十音順 敬称略)

## 発行責任者



## 特定非営利活動法人 命のバトン

住所：〒918-8202 福井市大東1丁目11番18号

代表者：川崎 眞弓

電話番号：090-7089-5958

E-mail : [info@heartlife-fukui.com](mailto:info@heartlife-fukui.com)

<http://www.heartlife-fukui.com/>